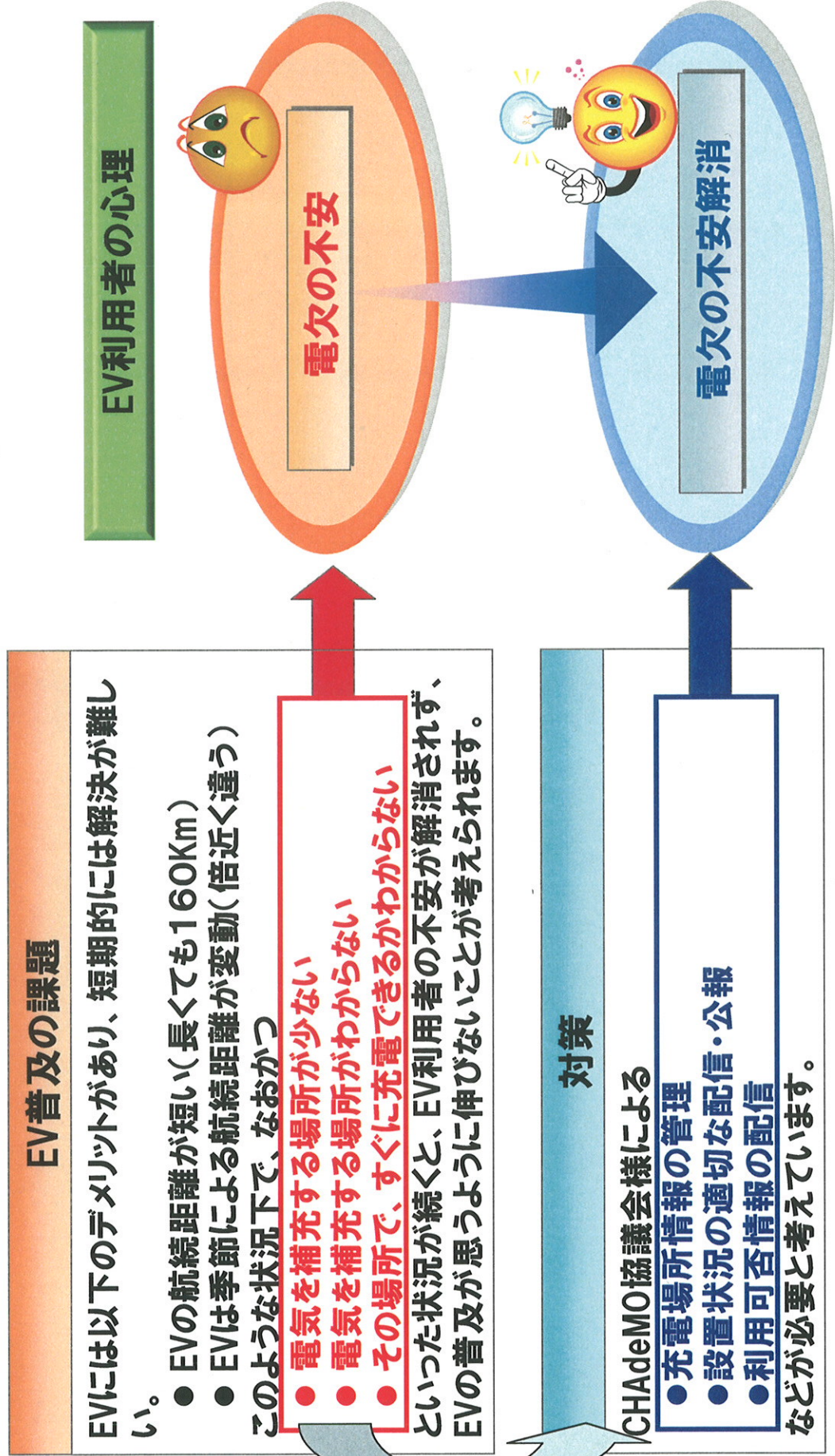


# 急速充電器等の設置場所の一元管理 と情報配信の重要性について

2010年4月19日  
KDDI株式会社

EV普及に際して、価格の問題、航続距離の問題等、様々な課題があるが、「確実に充電できる状況」を作り出し、**EV利用者の「電欠の不安」を取り除くこと**が最も大切なことと考えています。





- ・充電場所情報の管理
- ・設置状況の適切な配信・公報
- ・利用可否情報等の配信

といった情報は、自然に整備、配信されるものではありません。したがって、**CHAdEMO協議会様のよような公の機関で情報の信頼性を維持する必要がある**と考えています。

『充電場所情報の管理・配信』については、既にCHAdEMO協議会様で整備しつつあり、『設置状況の適切な配信・公報』においても、既にCHAdEMO協議会様でInternetに配信されています。

しかし、現状は各自で整備されているものは個々に管理され連携はできていません。アプリケーションレベルで連携可能な標準のプロトコルの制定を検討すべきだと考えています。

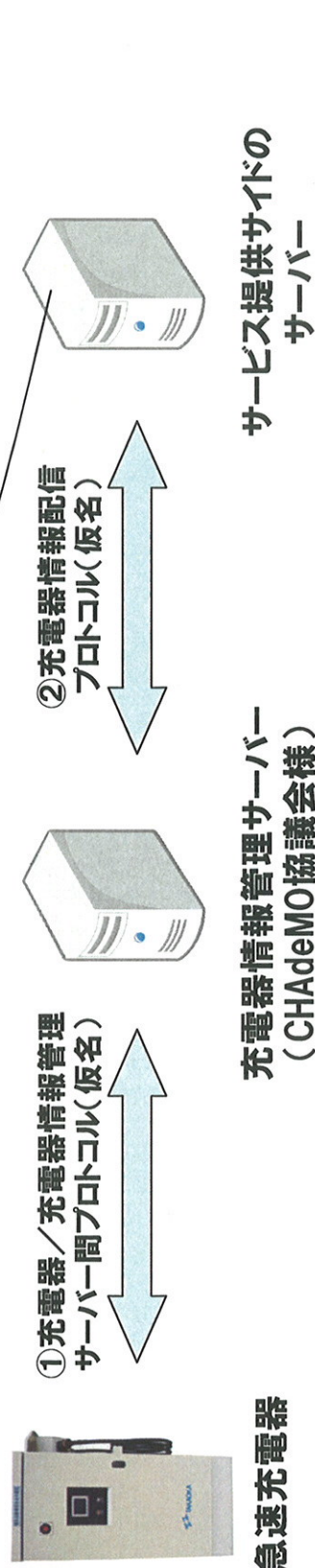
(※そうすることでインフラサービスを提供者の負担も軽くなると考えます)  
検討すべき標準プロトコルは、大きく以下の2つが必要であると考えられます。

## ①充電器 / 充電器情報管理サーバー間プロトコル(仮名)

⇒すでに出荷済みの充電器をどうするか、など課題は多いと考えられる。

## ②充電器情報配信プロトコル(仮名)

### システムイメージ





例) 充電器情報管理サーバーの情報を通じ、ナビゲーションシステムに対し以下の  
ようなサービスが提供できる可能性も考えています。

充電スタンド  
表示ボタン

緊急通報  
ボタン

最寄の充電スタンドへ  
ナビゲーション



充電スタンド表示

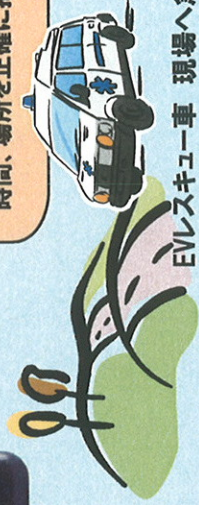


- 充電可
- 利用中
- メンテナンス中

画面上に最寄の充電設備を表示し、  
充電スタンドへナビゲーション

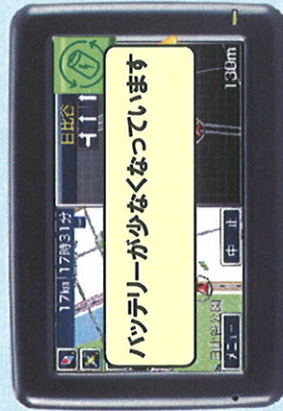
緊急通報

位置情報、連絡先情報



バッテリー低下警告

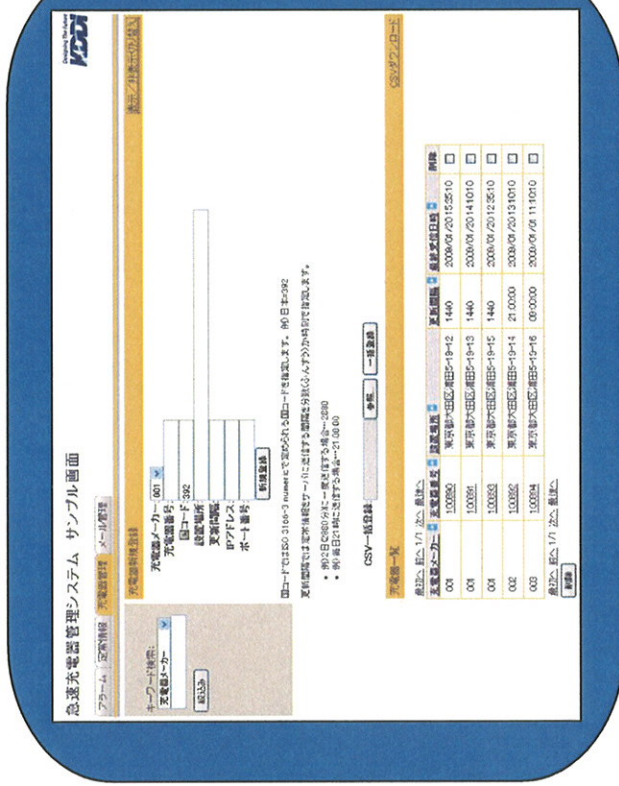
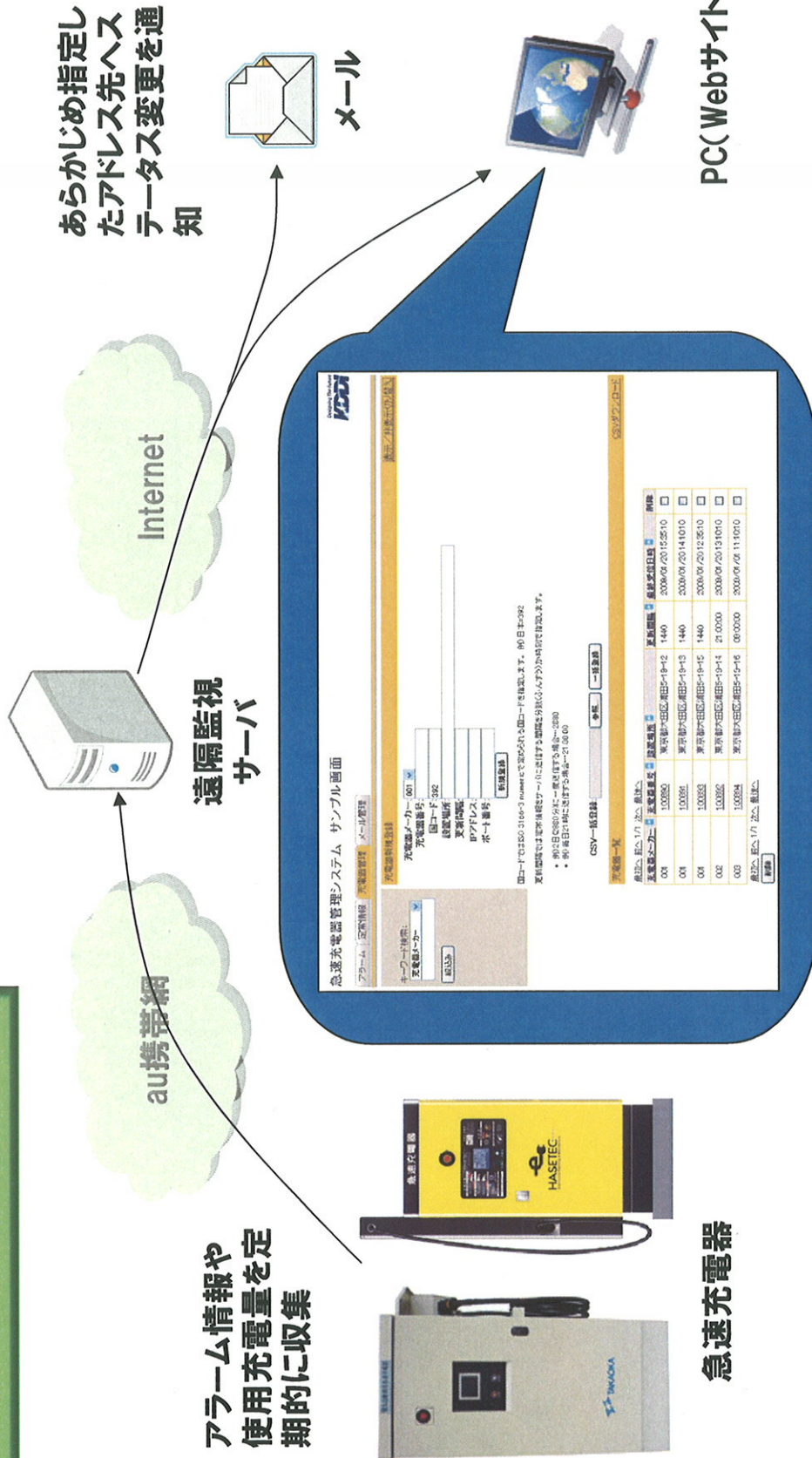
残バッテリー量をモニタリングし、バッテリー低下を警告表示





KDDIでは、auの通信モジュールを活用し、東京電力技術開発研究所様が管轄している急速充電器の遠隔監視を行っています。

## システムイメージ





KDDIからCHAdemo協議会様に以下のご提案を通し、少しでもEV普及にお役立ちが出来ればと考えています。

### ① 急速充電器遠隔監視システムのご提供

急速充電器遠隔監視システムをご提供させていただきます。結果、検討時間や導入スケジュールの短縮につながると考えています。

### ② 通信モジュール(au、WiMAX)の活用

通信モジュール、あるいは通信モジュール搭載のモデム等にはGPSチップが内蔵されており、位置情報が取得できます。定期的に位置情報を取得することで、充電器の移動を検知することができ、適切な対処を行うことで、充電器の位置情報の信頼性を向上させることが可能となります。

Designing The Future

**KDDI**

ご清聴ありがとうございました。